

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 5 年 3 月 27 日(2023.3.27)

【公開番号】特開 2021-150762(P2021-150762A)
【公開日】令和 3 年 9 月 27 日(2021.9.27)
【年通号数】公開・登録公報 2021-046
【出願番号】特願 2020-47684(P2020-47684)
【国際特許分類】

H 0 4 N 23/63(2023.01)

10

G 0 3 B 17/14(2021.01)

G 0 3 B 17/18(2021.01)

H 0 4 N 23/52(2023.01)

【F I】

H 0 4 N 5/232941

G 0 3 B 17/14

G 0 3 B 17/18 Z

H 0 4 N 5/225430

【手続補正書】

20

【提出日】令和 5 年 3 月 16 日(2023.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の箇所の第 1 の温度を取得する第 1 の温度センサーと、

前記所定の箇所とは異なる箇所の第 2 の温度を取得する第 2 の温度センサーと、

30

所定の機能を制限する制御手段と、

前記所定の機能が実行される前に、前記第 1 の温度センサーで取得した前記第 1 の温度と前記第 2 の温度センサーで取得した前記第 2 の温度との差に基づいて、前記制御手段が前記所定の機能を制限するまでの動作可能時間を求める予測手段と、を有する

ことを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記動作可能時間を表示する表示手段を有する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

画像を撮影する撮影手段を有し、

40

前記所定の機能は、前記画像を撮影する機能であり、

前記動作可能時間は、撮影可能時間である

ことを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記予測手段は、待機中に、前記撮影可能時間を求める

ことを特徴とする請求項 3 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記予測手段は、前記差と、前記所定の機能を実行した場合における前記第 1 の温度と前記第 2 の温度との差の時間変化に関する情報と、に基づいて、前記動作可能時間を求めることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

50

【請求項 6】

前記予測手段は、前記第 1 の温度センサーで取得した前記第 1 の温度と、前記所定の機能を実行した場合における前記第 1 の温度の時間変化に関する情報と、に基づいて、前記動作可能時間を求めることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 7】

前記所定の機能を実行した場合における前記第 1 の温度と前記第 2 の温度との差の時間変化に関する情報を記憶する記憶手段を有することを特徴とする請求項 5 に記載の撮像装置。

【請求項 8】

前記所定の機能を実行した場合における前記第 1 の温度の時間変化に関する情報を記憶する記憶手段を有することを特徴とする請求項 6 に記載の撮像装置。

【請求項 9】

前記撮影手段は、前記画像を撮影するための複数の撮影モードを有し、前記複数の撮影モードごとの、前記所定の機能を実行した場合における前記第 1 の温度と前記第 2 の温度との差の時間変化に関する情報を記憶する記憶手段を有することを特徴とする請求項 3 に記載の撮像装置。

【請求項 10】

前記撮影手段は、前記画像を撮影するための複数の撮影モードを有し、前記複数の撮影モードごとの、前記所定の機能を実行した場合における前記第 1 の温度の時間変化に関する情報を記憶する記憶手段を有することを特徴とする請求項 3 に記載の撮像装置。

【請求項 11】

所定の箇所の第 1 の温度を取得する第 1 の温度センサーと、前記所定の箇所とは異なる箇所の第 2 の温度を取得する第 2 の温度センサーと、所定の機能を制限する制御手段と、を有する撮像装置の制御方法であって、前記所定の機能が実行される前に、前記第 1 の温度センサーで取得した前記第 1 の温度と前記第 2 の温度センサーで取得した前記第 2 の温度との差に基づいて、前記制御手段が前記所定の機能を制限するまでの動作可能時間を求めるステップ、を有することを特徴とする制御方法。

【請求項 12】

請求項 11 に記載の制御方法のステップをコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するために、本発明は、所定の箇所の第 1 の温度を取得する第 1 の温度センサーと、前記所定の箇所とは異なる箇所の第 2 の温度を取得する第 2 の温度センサーと、所定の機能を制限する制御手段と、前記所定の機能が実行される前に、前記第 1 の温度センサーで取得した前記第 1 の温度と前記第 2 の温度センサーで取得した前記第 2 の温度との差に基づいて、前記制御手段が前記所定の機能を制限するまでの動作可能時間を求める予測手段と、を有することを特徴とする。

10

20

30

40

50